(19.09)　T1-0009-09

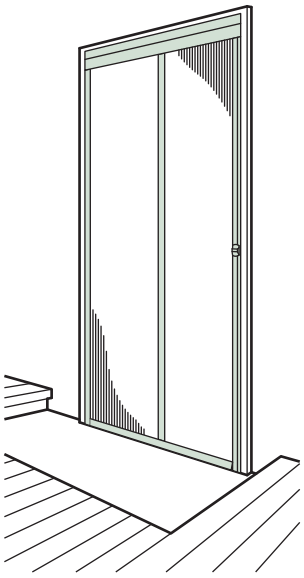
スリム型ロータリー網戸 ロングサイズ

ドア用網戸
取付け説明書

株式会社 川口技研
営業本部●埼玉県川口市上青木1-14-41 〒333-0844
電話048(255)5411　FAX 048(255)8228
ホームページ https://www.kawaguchigiken.co.jp/
網戸製品の情報がご覧になれます。

この度は、スリム型ロータリー網戸ロングサイズをお求めいただきまして、誠にありがとうございます。
取付ける前に、この取付け説明書をよくお読みのうえ、正しく取付け・使用下さい。（要保管）

■完成参考図

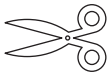


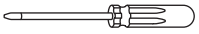
■取付けできる寸法

幅	50cm～94cm
高さ	185cm～215cm

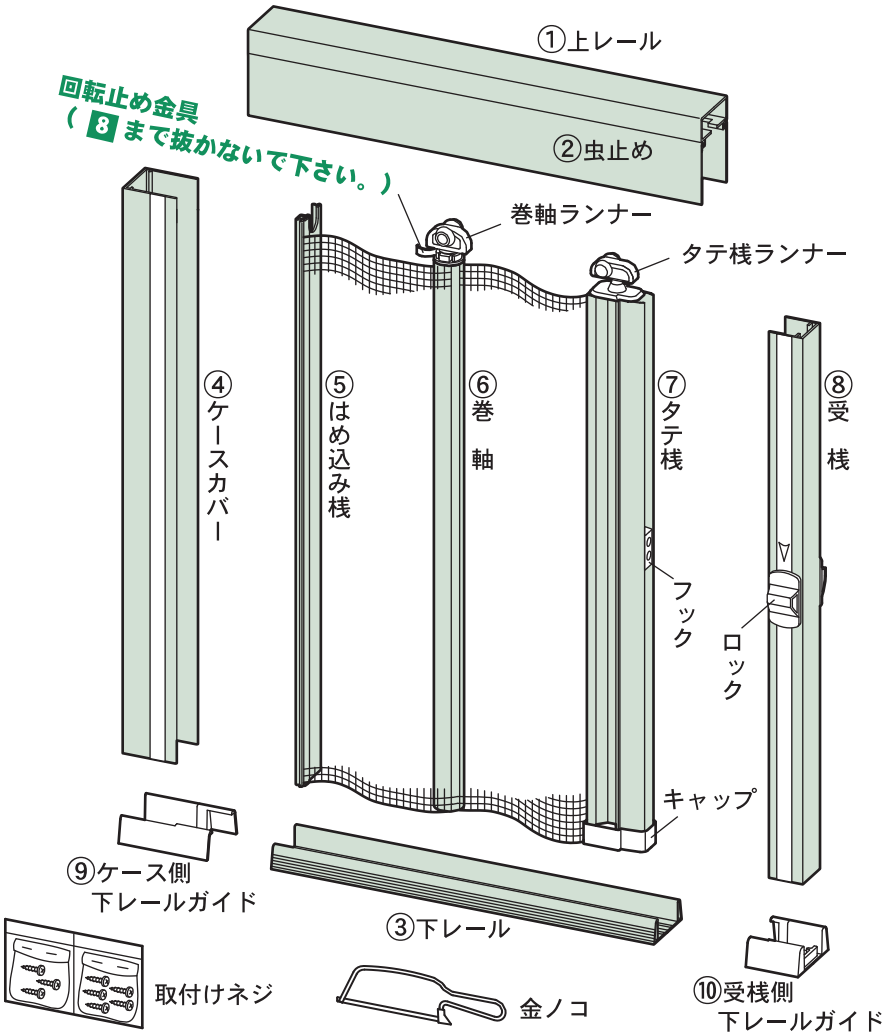
■使用工具

メジャー


ハサミ


プラスドライバー

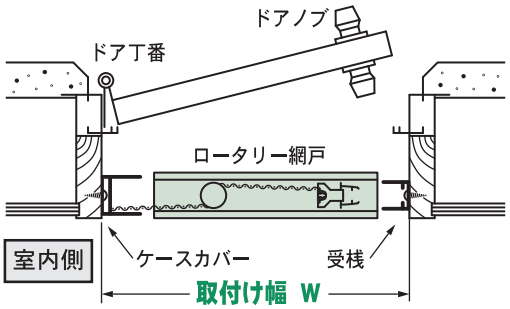
■部品一覧　下記の通り部材がそろっているかご確認下さい。

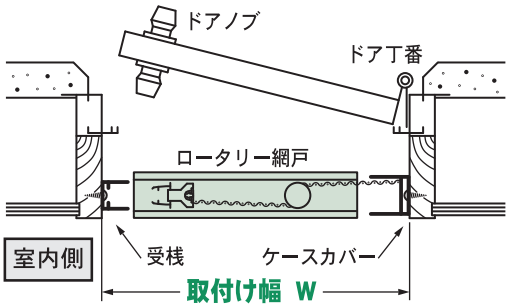


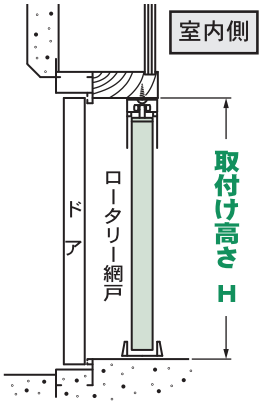
取　付　け　位　置

● 網戸はドア室内側の木の部分に取付けます（床を除く）。木以外の場合には下表をご参照ください。

	材　質			取付けの可・不可	
取付けるところが木以外の場合	壁紙	裏側の材質	木	○	ネジがきく場合は取付けできます。
			石膏ボード	×	ネジが空転してしまうため取付けできません。
	スチール（鉄）・アルミ			×	そのままでは取付けできません。下穴開けが必要となります。
	コンクリート			×	取付けできません。







ドアの開きが左右どちらでも取付けできます。（木枠がなければ、そのままでは取付けできません。）

どちらの場合も（ケースカバー…ドア丁番側／受　桟…ドアノブ側）に取付けます。

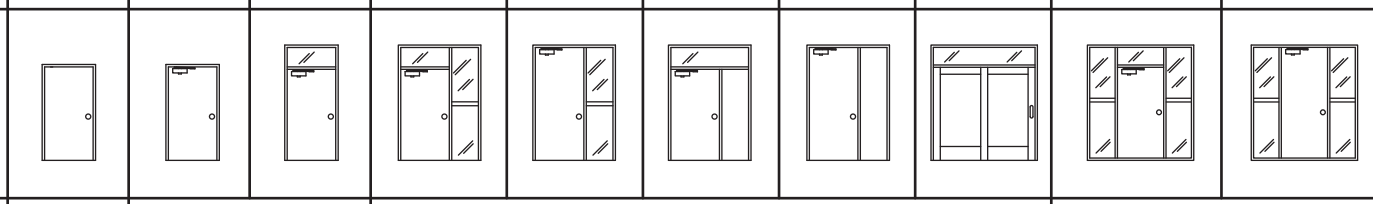
別売品の取付け順序について

スリム型ロータリー網戸を取付ける際、ドアの形状により、別売品の「突っ張り支柱」「ドアクローザよけ部品」が必要となる場合がありますが、必ず下記の順序で取付けを行って下さい。

❶ 突っ張り支柱 ＴＳ－２４（別売品） ➡ **❷ ドアクローザよけ部品** ＣＹ－２（別売品） ➡ **❸ スリム型ロータリー網戸**

■ドアの形状と取付け順序

※引戸の場合、網戸を取付けるところに邪魔をするものがある場合は取付けできません。

	ランマなしドア ドアクローザなし	ランマなしドア ドアクローザ付き	ランマ付きドア ※注１	ランマ付き 袖付ドア	袖付ドア	ランマ付き 親子ドア	親子ドア	引　戸	ランマ付き 両袖ドア	両袖ドア
姿図										
取付け順序	ロータリー網戸	ドアクローザよけ部品 ⇩ ロータリー網戸		突っ張り支柱　1本 ⇩ ドアクローザよけ部品 ※注２ ⇩ ロータリー網戸					突っ張り支柱　2本 ⇩ ドアクローザよけ部品 ※注２ ⇩ ロータリー網戸	

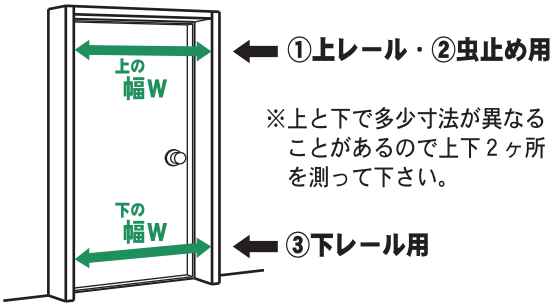
注１）ドアクローザがなくても、高さ調整として「ドアクローザよけ部品」を使用します。
注２）ランマ・ドアクローザがなく、取付け高さＨが網戸の最大取付け高さより低い場合は、「ドアクローザよけ部品」は使用しません。

取　付　け　順　序

1 ヨコ部材 ①上レール・②虫止め・③下レール の切断

網戸を取付ける場所の『幅Ｗ』を測って、ヨコ部材を下図のように切断して下さい。

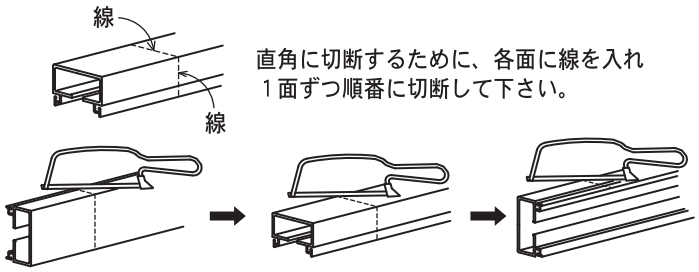
注意）別売品『突っ張り支柱』を使われるドアのタイプの方は、『突っ張り支柱』の説明書をご覧になり、『幅Ｗ』を測って下さい。



※上と下で多少寸法が異なることがあるので上下２ヶ所を測って下さい。

⚠ 金ノコや部材の切口等でケガしないようにご注意下さい。

切断する時のポイント

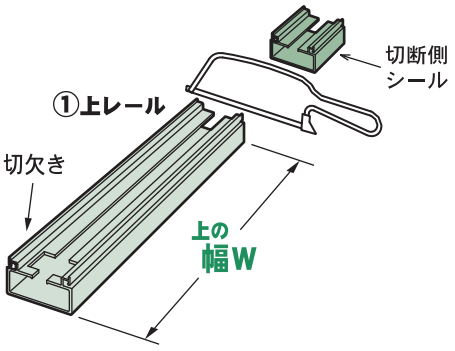


直角に切断するために、各面に線を入れ１面ずつ順番に切断して下さい。

※ **2** の『タテ部材の切断』においても同様に切断して下さい。

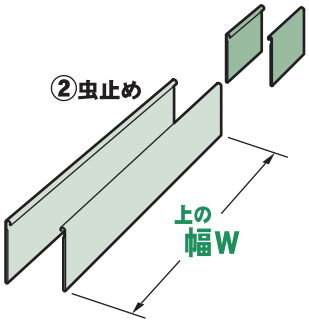
上レールの切断

虫止めを抜いて、測った**上の幅Ｗ**に合わせて切欠きの反対側を切ります。



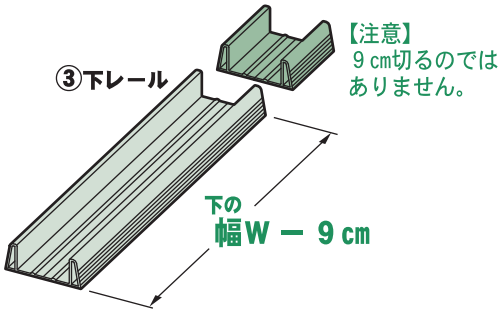
虫止めの切断

上レールと同寸法に切ります。



下レールの切断

測った**下の幅Ｗ**より９㎝(下レールガイド分)短い寸法になるように切ります。



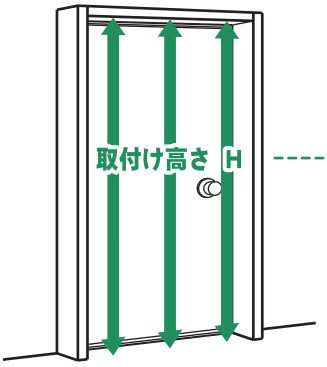
2 タテ部材 ④⑤⑥⑦⑧ の切断

⚠ 金ノコや部材の切口等でケガしないようにご注意下さい。

切る寸法は？

まず、取付け場所の
『取付け高さＨ』を測って下さい。

注意）別売品『ドアクローザよけ部品』を使われるドアのタイプの方は、『ドアクローザよけ部品』の説明書をご覧になり『**取付け高さＨ**』を測って下さい。



※左・中・右で多少寸法が異なることがあるので、３ヶ所測って一番小さい寸法を『取付け高さＨ』として下さい。

各タテ部材をそのまま切らずに使用すると『取付け高さ215cm』に合うようにできあがっています。
『取付け高さＨ』を測り、215cmとの差（＝切捨て寸法）を切り捨てて下さい。

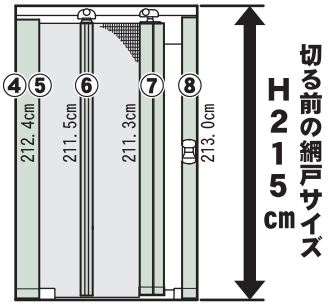
切る前の網戸サイズ **215cm** ー 取付け高さＨ **cm** ＝ 切捨て寸法 **cm**

（部材の長さではありません。）　（測った寸法）

『切り捨て寸法』とは？

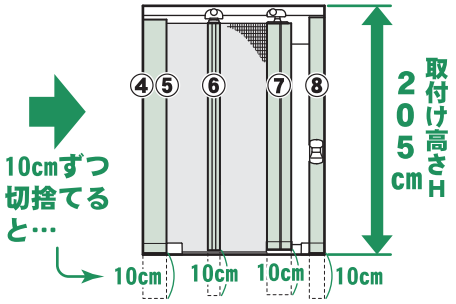
切る前の網戸サイズは
Ｈ215cm用にできています。

部材を切らずに取付けると215cmの高さに合うようにできています。



例 取付け高さＨが205cmの場合

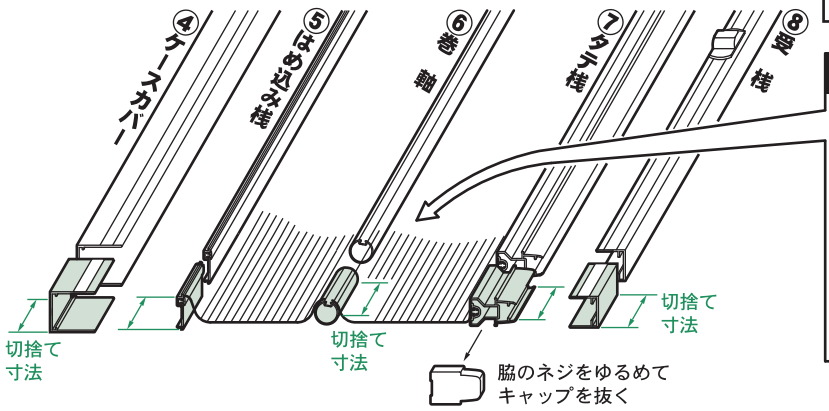
215cm－205cm＝10cm（←切捨て寸法）
各部材をそれぞれ10cmずつ切りつめると取付け高さ205cmに合うようになります。



（ヨコ部材・他部品⑨⑩等の関係上、各タテ部材の長さはそれぞれ異なり、『取付け高さＨ』より短くなりますが、取付け高さ205cmに合うように設定されます。）

どこを切断？

（１）タテ桟のキャップを抜きます。
（２）④・⑤・⑥・⑦・⑧はすべて下側を同じ『切捨て寸法』で切ります。
　　切断の際には網を傷つけないようにご注意下さい。
※④と⑧は切断側のシールが貼ってあります。



切断する時のポイント

④ケースカバーと⑧受桟は、切断した側に後で下レールガイドをはめるので、できるだけ直角に切断し、切り口をきれいに仕上げて下さい。

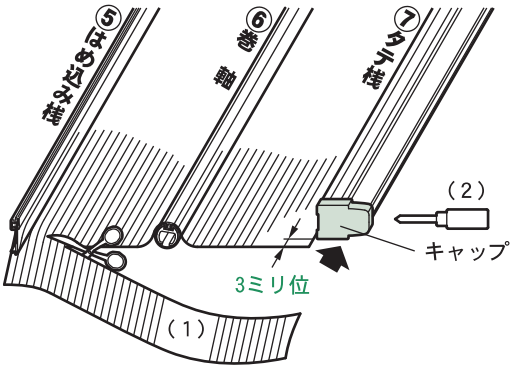
切断する時のポイント

巻軸を切断する場合には、図のように網を片側に寄せ、網の反対側から金ノコを入れて下さい。
切断後、切り口は危険ですからヤスリ等で仕上げて下さい。

切断の後

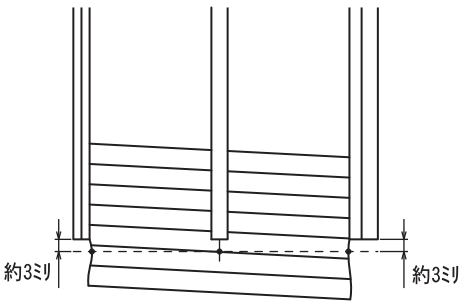
（１）網を使用する部材より３ミリ位長めで切って下さい。
（２）タテ桟にキャップを差し込み、ネジを締めます。

注意！　切断しないでご使用の場合（215cmで使用）でも網を切り、キャップのネジをしっかり締めて下さい。



◎網を切断する時の注意点

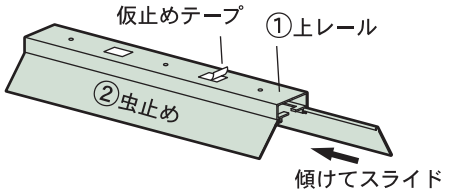
網の性質上、伸び縮みがあるため下部の横目は多少斜めになっている場合があります。
タテ部材の切断したところから平行に３ミリ位下側を目安に網目に合わせることなくハサミで切りとって下さい。



3 上レールの取付け

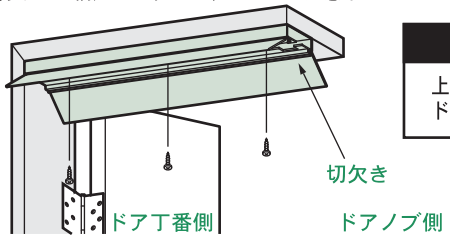
※イラストは、室内側から見てドア丁番が左の場合です。ドア丁番が右側の場合は、逆向きになります。

（1）上レールに虫止めを両側とも差し込み、仮止めテープをはがします。



（2）切欠きをドアノブ側にして、取付けネジで固定します。

※逆に付けると網戸がはずれますので、ご注意下さい。



ポイント

上レールの切欠きをドアノブ側にします。

4 ケースカバー・下レールガイドの取付け

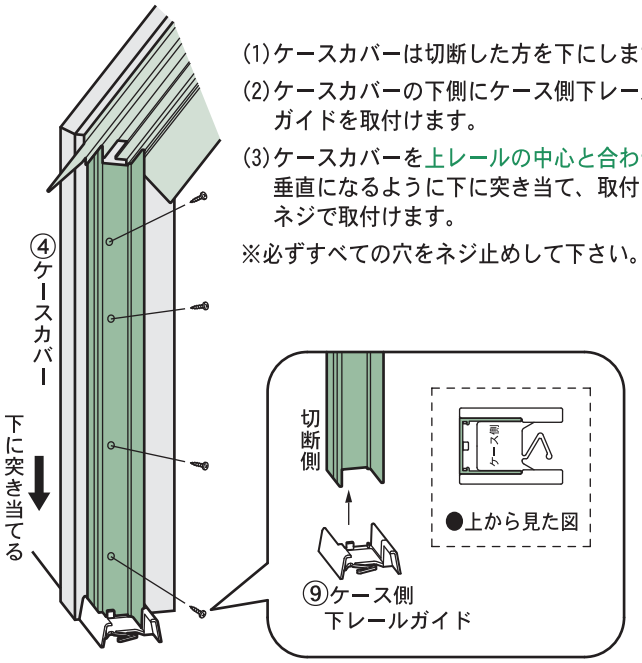
※ドア丁番側に取付けます。

(1)ケースカバーは切断した方を下にします。

(2)ケースカバーの下側にケース側下レールガイドを取付けます。

(3)ケースカバーを上レールの中心と合わせ、垂直になるように下に突き当て、取付けネジで取付けます。

※必ずすべての穴をネジ止めして下さい。



5 受桟・下レールガイドの取付け

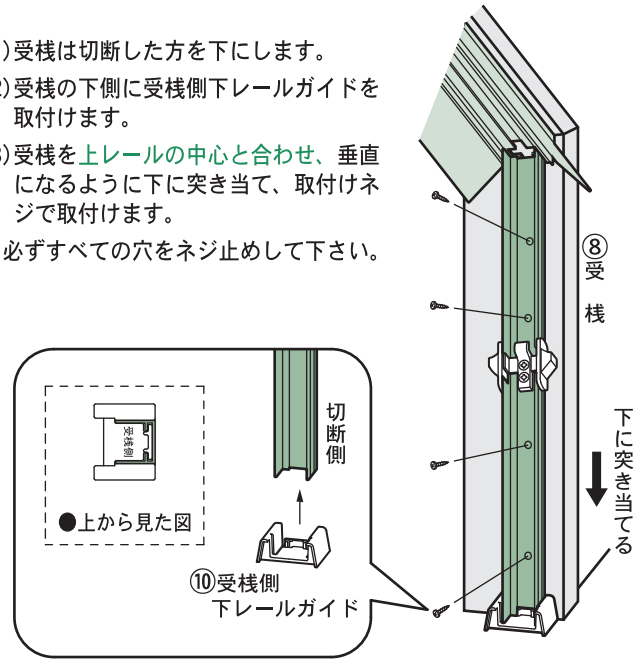
※ドアノブ側に取付けます。

(1)受桟は切断した方を下にします。

(2)受桟の下側に受桟側下レールガイドを取付けます。

(3)受桟を上レールの中心と合わせ、垂直になるように下に突き当て、取付けネジで取付けます。

※必ずすべての穴をネジ止めして下さい。



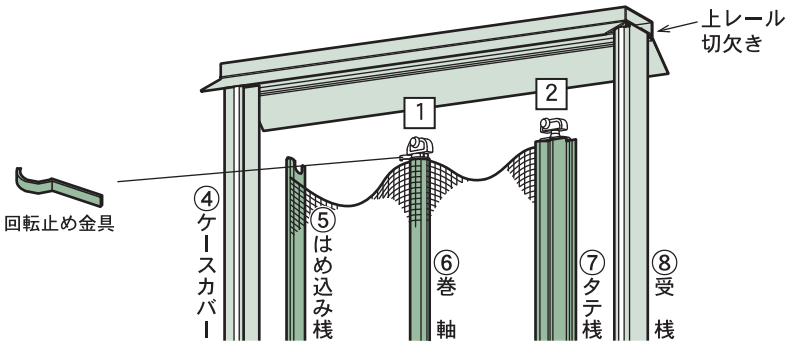
6 上レールにランナーを入れる

1 → 2 の順序で下図のように取付けます。

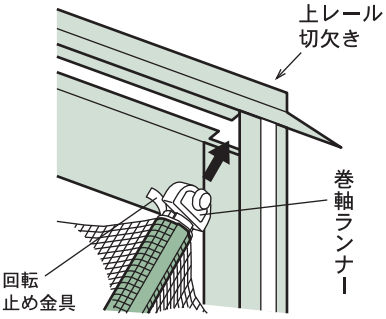
はめ込み桟はここでは取付けません。

⚠ 回転止め金具はまだ抜かないで下さい。取付け前に抜くと巻軸ランナーが急回転してケガをする恐れがあります。

※取付け前に回転止め金具が抜けてしまった場合には、『回転止め金具の取付け方法』をご覧下さい。



1 巻軸を斜めにして、上レールの切欠きより巻軸ランナーを入れます。

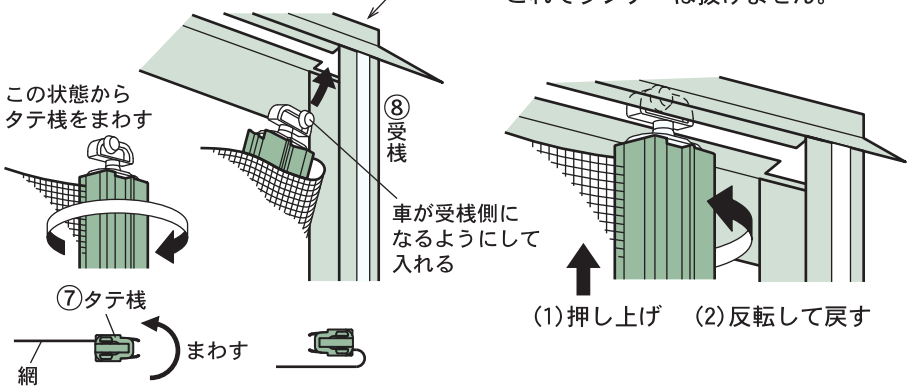


⚠ 回転止め金具が外れないように注意して下さい。巻軸ランナーが急回転してケガをする恐れがあります。

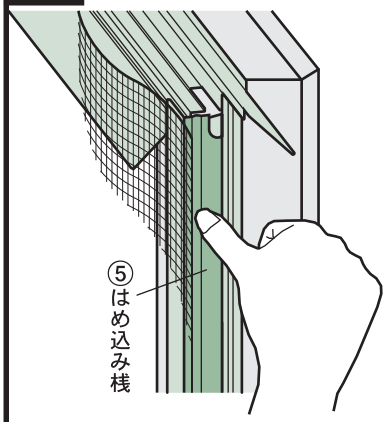
2 タテ桟を図のようにまわして上レールの切欠きから斜めにして入れます。

タテ桟を上レールに押し上げながら反転して戻して下さい。

これでランナーは抜けません。



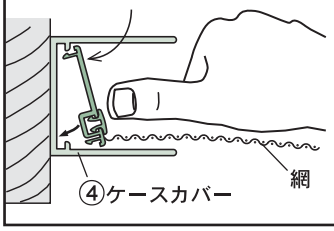
7 はめ込み桟をはめ込む



ポイント

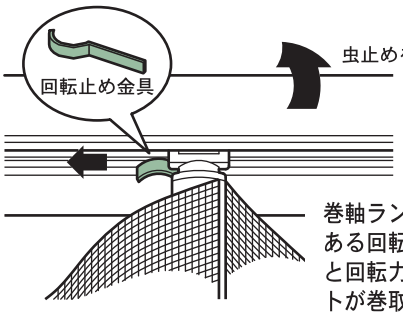
●断面図

こちらを先に入れて指で強く押します



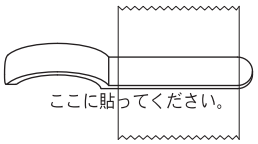
はめ込み桟をケースカバーの中に入れ、上から下へパチンパチンと順々に押し付けしっかりはめ込みます。

8 回転止め金具を抜く



巻軸ランナー部にさしてある回転止め金具を抜くと回転力が発生し、ネットが巻取られます。

◎回転止め金具は、網戸本体を取りはずす時やネット交換の時に必要となりますので、セロテープでここに貼付けて、大切に保管しておいてください。

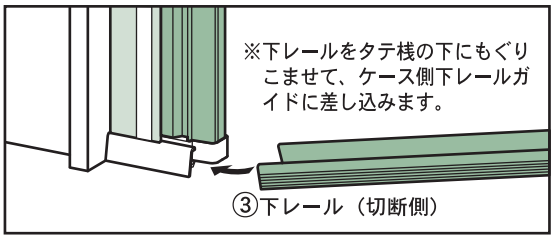


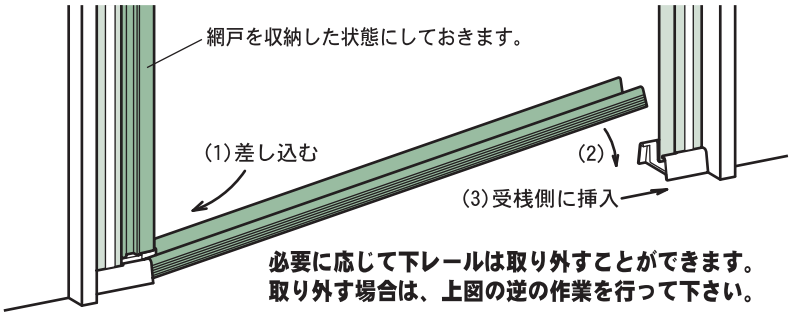
9 下レールの取付け

⚠ 取付け前に周辺をきれいに掃除して下さい。

ポイント

下レールは切断した方をケースカバー側にします。





必要に応じて下レールは取り外すことができます。
取り外す場合は、上図の逆の作業を行って下さい。

⚠ ●下レールを蹴る等の強い衝撃を与えると、下レールや下レールガイドが破損する場合がありますので十分ご注意下さい。
●取り外した下レールは水平又は垂直に保管して下さい。斜めにたてかけたりすると、変形する恐れがあります。

取　扱　い　説　明　書

ー安全上のご注意ー

●ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

⚠ **警告** … この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠ **注意** … この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容

⚠ 警告	・網戸に寄りかかったり、蹴る等の強い力はかけないで下さい。 網戸のはずれなどにつながり、ケガをしたり損害を与えることがあります。 ・本製品のロックは、防犯には役立ちません。戸締まり時は必ずドアで施錠して下さい。 ・ネットにタバコの火などの火気は絶対に近づけないで下さい。
⚠ 注意	・強風時には使用しないで下さい。風により自動収納しない場合があります。 ・網戸を開閉する際、指をはさまないようにご注意下さい。 ・無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、ケガや破損の原因となりますのでご注意下さい。 ・下レールにゴミ等がたまると網戸がスムーズに開閉できなくなります。 下レールとその周辺はこまめに掃除して下さい。

ーお手入れ方法ー

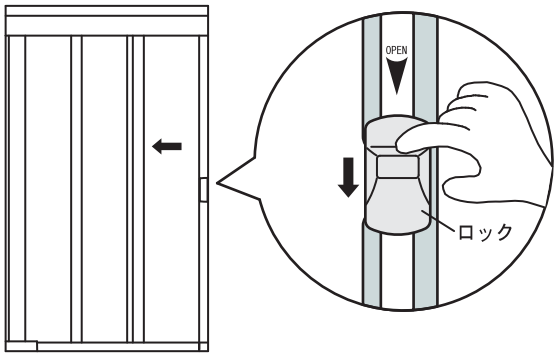
・日常的には乾いた布で拭いて下さい。
・汚れがひどい場合には、中性洗剤で洗い、その後カラ拭きして下さい。
・シンナー、ベンジン、アルコール、酸性・アルカリ性洗剤は使用しないで下さい。
・たわしや金属ブラシなどでこすらないで下さい。破損やキズの原因となります。
・ネットが破損した場合には、「取替えネット スリム型ロータリー網戸SRB-1用」(別売品)を販売店よりお求め下さい。

ーこんな場合のチェック方法ー

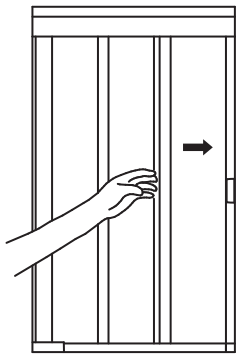
●網にしわができるとき … いったん網をひろげ、しわをとって巻軸に巻取らせます。
●巻取りにくいとき … 下レール面に巻軸、タテ桟キャップ、ネット等がこすってないか確認して下さい。
それでも動きが悪い場合には、上レールの溝部およびランナーに潤滑剤を塗布してください。
（潤滑剤は市販の油性またはシリコーン性のものをご使用ください。）

■操作方法

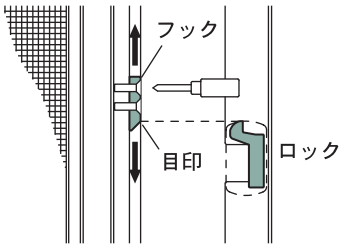
●開ける時は、指でロックを軽く下げて下さい。
開閉の際、指をはさまないようにご注意下さい。



●閉める時は、タテ桟の中央を持って、ていねいに操作し、ロックにかけて下さい。
ロックのかかりがずれている場合には下図のように調整して下さい。



ロックのかかりの調整

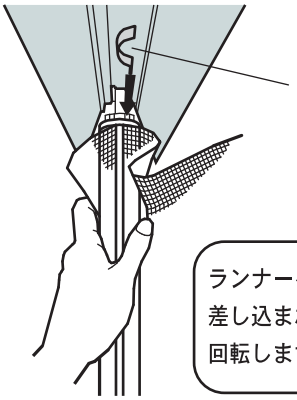


タテ桟フックのネジを2本ゆるめて、目印を受桟ロックの先端に合わせてネジを締めて下さい。

■網戸本体をはずす場合

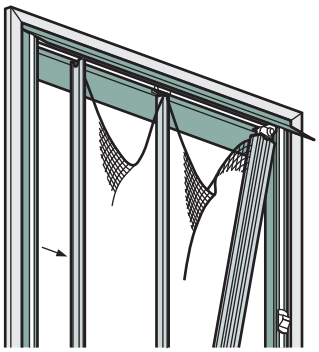
(1)巻軸の網押えを図のように上レールの溝の向きにして回転止め金具を差し込んで下さい。

回転止め金具を紛失した場合は、取り外すと回転力が失われます。
再度取付ける場合は **回転止め金具の取付け方法** の要領で行って下さい。



⚠注意
ランナーをはずす際、回転止め金具を差し込まないと巻軸ランナーは、急に回転しますので十分ご注意して下さい。

(2)U字形の切欠きを利用して、はめ込み桟をはずします。
(3)取付け順序 **6** の 2 の作業を逆に行ってタテ桟をはずします。
(4)巻軸を上レールの切欠きよりはずします。



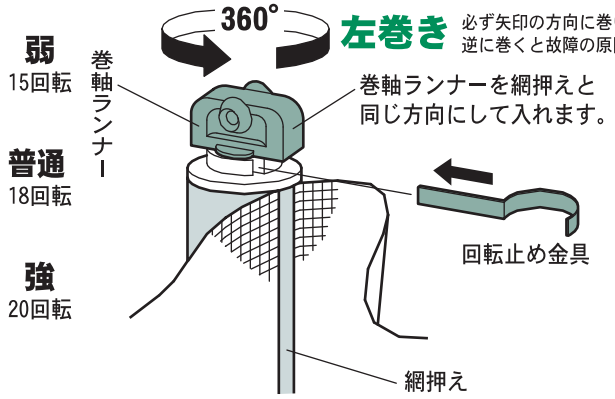
⚠保管する時の注意
タテ桟を芯にして網をきっちりと巻き、紙等にくるんで垂直に保管して下さい。
巻かずに長期間斜めにたてかけると部材が曲がる場合があります。

■再度網戸本体を取付ける場合

取付け順序 **6** **7** **8** を行って下さい。

●回転止め金具を取付けてない場合には、下の方法で巻軸にセットして下さい。（取付け前に抜けてしまった場合も同様の手順で行って下さい。）

回転止め金具の取付け方法



●巻軸ランナーを矢印の向きに18回転位巻いて、その状態を保ちながら回転止め金具を差し込みます。
●あまり強く巻き過ぎますと、巻取りスピードが速く、指をはさんでケガをする恐れがありますのでご注意下さい。

回転止め金具がない場合

18回転位巻いた巻軸ランナーを回転が戻らないように指で押さえながら上レールの切欠きより入れて下さい。

⚠ しっかりと押さえていないと、巻軸ランナーが急に回転しますのでご注意下さい。

この説明書は、ネット取り替え等のため、必ず保管しておいて下さい。